

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		くわの家 ステラフレンズ		回答 正規職員 2名 非常勤職員4名		公表日 令和7年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	0	活動内容、人数によっては狭い時があるが、活動のグループ分けなどをするなど工夫しておこなっている	もう少しスペースに余裕が欲しいと思う時がある トイレの数がもう少し欲しい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	0	児童指導員・保育士にて構成している	利用者の人数によっては、職員が足りないと感じる時があるので、基本人員以外の人員確保
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	0	スケジュールボードの設置や、玩具等の片付け場所の表示など	玄関のみ20センチほどの段差があるので注意が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	0	毎日、サービス提供時間終了後に清掃、机や玩具等の消毒をおこない、清潔を保っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	0	学習室にて落ち着いて取り組むことができるようにしている	
※	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	1	月に一度職員会議をおこない、支援の振り返りや共有をおこなっている	限られた時間の中で、非常勤職員に周知共有しきれない事があることが課題
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	1	日頃の声を支援に活かしていけるよう、出来る限りの配慮をしている	アンケートで多い、保護者間の交流する機会を設けていく

未 務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	0	職員間の意見交換を大切にしている	一部の職員の声にならないよう、様々な職員の声を上層部に伝えていく体制をつくっていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2	4		どんな時に第三者評価を受けていくのか、職員間での理解、認識ができていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	0	毎年1回はた法人との合同研修会が開催されている 今年度は「虐待防止について」であった	職員の声を聞きながら、必要な研修を開催していく
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	1	令和6年11月に支援プログラムを、当法人のホームページにて公表している	支援プログラムは、定期的に精査しその都度公表していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	1	定期的に保護者面談等でアセスメントをしながら、個別支援計画の作成をおこなっている	保護者の負担軽減しながらアセスメントが出来るか考えていく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	1	個別支援計画作成会議を、職員間でおこない話し合いながら作成している	非常勤職員の参加が出来ていない事が課題
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	1	支援者は常に個別支援計画や、日々の記録など確認することが出来るようにしている	利用児全員分を把握することは、難しさがある
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	2		よりの確に子どもの姿が確認できるアセスメントツールの作成をしていく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	1	ガイドラインに基づいた作成を心がけているが、内容の把握がしきれていない	ガイドラインの読み込みを職員間でおこないながら、適切な目標設定をおこなっていく

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	1	毎月職員会議で、活動プログラム内容を決めている	5領域を考えながら、プログラム作成をおこなっていく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	0	活動の趣旨を考えながら、工夫している	5領域を考えながら、プログラム作成をおこなっていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	0	集団活動の中でも個別の対応をする配慮もおこなっている	個別支援計画に組み込みながら、集団と個別の支援を計画的におこなっていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	1	常勤職員が主体となって支援をおこない、非常勤職員が支援の補助的な役割をしている	支援開始前は、学校等への迎えで非常勤職員との打ち合わせが出来ない事が多いので、事前に担当がわかるように伝える
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	1	時間的に支援後の打ち合わせは難しいので、翌日振り返りをおこなっている	非常勤職員においては、振り返りや気づきの伝達方法が各々なので統一していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	0	支援後または、翌日に振り返りをしながら個人記録をつけ支援について話し合っている	長期休暇中は十分にできないことが課題
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	1	6か月に一度、モニタリングをおこない、計画の見直しをおこなっている	職員全員参加は難しいが、広い意見を聞くことが出来るような、工夫をしていきたい
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	2	ガイドラインをもとに活動計画の作成を心がけている	ガイドラインの読み込みを職員間でおこないながら、適切な目標設定をおこなっていく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	0	自分の気持ちを伝えることが出来るように、絵カード等の選択肢を設けて工夫している	一人ひとりに合った選択肢を考えていく
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	0	児童発達支援管理責任者が参加している		

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	1	必要に応じて、依頼できる協力医等の関係機関との連携体制は整えている	定期的な連携が必要
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	0	基本的には保護者を通しての連絡となっているが、下校時間予定表の共有をしてくれる学校もある	時間変更等の連絡体制の徹底
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	3	引継ぎ会議がある場合は積極的に参加している	必要に応じて、保護者の子承のもと情報提供の依頼をおこなう
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0	4		現地点での該当児なし。 利用者からの申し出があれば提供していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	0	4	通所支援事業所連絡会に参加し、情報共有をおこない必要に応じて助言等受けることが出来る	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	2	4	現在交流の機会を持つことはできていない	事業所から交流の申し込みをしたり、地域の行事に参加するなどの機会を積極的におこなう
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	1	月に一度の会議に、児童発達管理責任者が出席している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	0	連絡帳等で糧での様子と事業所での様子の情報共有をおこない、必要に応じて電話や面談等に対応している	連絡帳の記入が十分にできない事がある 子どもの支援に重点をおきたい
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0	4	現在、事業所としての企画はおこなえていないが、地域の保護者の会主催のイベント等の案内はおこなっている	保護者のニーズを聞きながら、事業所としての企画開催が出来るように考えていく
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	1	契約時に時間をかけて丁寧に説明をおこなっている	支援プログラムに関しては、定期的に見直し、ホームページにて掲載されていることをお知らせしていく	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	2	保護者の方との面談を通して、意向や意思を聞いている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	3	6か月に一度、個別支援計画の見直しをおこなう保護者への説明の上、同意を得ている	面談の日程調整が難しいことがある
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	0	要望があれば、面談や電話等での対応をおこなっている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	2	4	保護者会はないが親子活動イベントの開催を心がけている（今年度は開催なし）	年に1度の親子活動等の開催で、交流が出来るようにしていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	4	0	苦情箱の設置等、体制は整えている	体制の周知を徹底していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	0	毎月1回フレンズだよりを発行、ホームページへの掲載をし、事業所での様子をお知らせしている。	SNS等での発信も積極的におこなっていけるように、準備していきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	0	個人書類管理には十分な配慮をしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	0	絵カードの使用や手話、ジェスチャー等様々な方法でのコミュニケーションをおこなっている	一人ひとりに合ったツールを使用していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	2	地域の老人施設の畑を借りて、畑活動をさせていただいているが交流までには至っていない	地域に開けた事業運営を目指していきたい
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	0	各マニュアルの策定はされており、職員の周知、訓練はおこなっている	マニュアル等は誰でも閲覧できるようになっていることを、周知していく	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	0	BCPは策定されていて、定期的に避難訓練等おこなっている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	0	保護者からの情報をもとに、職員間で共有をしている 学校での様子も保護者同意のもと、連絡帳の確認にて状況把握をしている	日々の状況の変化に対応できるよう、保護者や学校、医療機関との連携を密にしていく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	2	保護者からの情報をもとに、職員間で共有をしている	日々の状況の変化に対応できるよう、保護者や学校、医療機関との連携を密にしていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	0	日常の支援時、戸外活動などの活動計画案に安全への配慮を入れて、職員間で共有している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	1	緊急時の対応に関しての通知を紙面で配布している	定期的に安全計画への取り組み内容を、保護者に報告していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	0	気が付いたことを共有できるよう、目に付くところにヒヤリハット報告書を置いている	ヒヤリハットが上がった時には、速やかに振り返りや改善が出来る体制を整えていく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	定期的に虐待防止のチェックリストをおこなう、職員ひとり一人が虐待に対する認識を深めている	客観的な目線で判断し合うことができるような、職場環境をつくっていく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	0	子どもの安全を優先的に考えた上での身体拘束については、保護者の同意を得た上でおこなっている	定期的に子どもの状態を把握、確認し必要に応じて解除していく	